

長期債務返済は借入金と社債発行でも対応 リニアの建設費はいったいどこから出てくるのか？

本部は10月28日、平成22年度第2四半期連結決算について経営協議会を開催し、会社から説明を受け協議を行いました。

会社は、「依然として厳しい経営環境が続く中、単体での運輸収入は、景気低迷や高速道路料金値下げ政策の影響を受けたものの新型インフルエンザに影響の反動もあり増収となった。そのため、通期の業績予想を収益・利益を上方修正するとしながら、引き続き業務全般にわたり効率化・低コスト化等を徹底する」としました。

会社の説明に対し、淵上委員長が会社に主張しました。

- 今回の決算の認識と今後の収入見通しについて考えを示せ
- 長期債務の返済資金の調達方法を明らかにせよ
- 社債の今年度発行額とこれまでの発行額の合計を示せ
- 今後の「効率化」「低コスト化」経費削減の予定はあるのか
- 経営環境の厳しい中、リニア開業について再度検討することもありうるのか
- リニアがCルート優位となっているが、会社の見解を示せ
- リニアは重要施策であり、労使の協議の場を特つこと
- 組合の申し入れについては団体交渉・業務委員会を開催せよ
- 最高裁決定を無視した掲示物の一方的撤去を止めること
- 危険と判断し、列車を停止させた運転士に写経を命じたことは人権侵害であり、このようなことは止めること
- 最高裁での7件の不当労働行為が決定した。JR東海労への敵対姿勢を反省せよ
- 自殺防止対策の具体的対策を講じること
- 組合事務所の便宜供与を早急にすること

**就 掲 示 物 の 一 方 的 撤 去 は 最 高 裁 の 決 定 無 視 だ ！
業 規 則 の 写 経 は 人 権 侵 害 だ ！**